

## トビウオの「とぶ」は フライ or ジャンプ？

筑波大学附属視覚特別支援学校

武井 洋子

今年も中学部 2 年の理科生物範囲で、魚の外部形態の観察を行いました。1 種類目は魚の基本形としてアジです。どんなものでも基本形は最初にじっくり観察します。観察観点は…

- ボディーの形  
ボディーの色  
目の様子  
ひれの種類とそれぞれの様子  
総排泄口(肛門)の位置  
側線の様子  
皮膚や鱗の様子  
歯の様子  
口の様子  
鼻の穴 など



図1 トビウオを自分と同じ方向に向けて観察している様子

これらを、生徒が発見者の立場に立てるように対話しながら観察させるには、やはり 2 時限以上はほしいところです。1 時限では観察記録をノートにとらせる時間はないので宿題にしています。

アジを観察した翌週、2 種類目の魚として、今年はトビウオを入手できました。関東地方では、5 月の一時期だけ店頭に並びます。1 尾 300 円ぐらい。生徒一人に 1 尾ずつ用意しました。スーパーマーケット陳列用のスチレン皿に収まらず、尾びれの下葉の先が切り取られていることがあるので、そうではないものを選びます。ちなみに、昨年度はコロナ禍で、1 学期が 6 月始まりだったのでトビウオは諦め、代わりに安価になったマダイを用いました。

基本形のアジをじっくり観察すると、生徒は頭の中にアジを描くことができるようになります。また、観察するべき観点を身につけます。そして、手で触って観察している 2 種類目の魚を、頭の中の基本形であるアジと比較することができるようになります。その日もトビウオをトレーに入れて渡したとたん、「わあ。胸びれが長〜い！」「背中が平たいね」などと口々に言い出しました。

一通り観察した後、教員の手も貸して、大きく発達した胸びれと腹びれを広げてみました(図1)。観察前の発問「トビウオはとぶらしいけれど、それは飛ぶ(フライ)なのか跳ぶ(ジャンプ)なのか?」に対して、生徒の出した答えは「ジャンプではなくてフライの方みたいだね!」でした。最後に、トビウオは英語で Flying fish だと教えました。

## 本の紹介

## 「視覚障害教育ブックレット Vol. 46」

筑波大学附属視覚特別支援学校視覚障害教育ブックレット委員会編、ジアース教育新社  
最新号もうすぐ発行！ 職場の同僚や関係者への御紹介、定期購読の申し込みぜひ  
ひとも御協力ください。毎学期に1号ずつ発行されています。バックナンバーあります。

